

誇り高き英国ブラス——輝かしい伝統を受け継ぐ最高峰のバンドが26年ぶりに来日!!

ブラック・ダイク・バンド

BLACK DYKE BAND



指揮: ニコラス・チャイルズ
[ブラック・ダイク・バンド音楽監督・首席指揮者]

Nikolas Childs, Music Director & Chief Conductor



2016年11月1日(火) 19:00開演 | 18:00 ロビー開場 21:00 終演予定 東京芸術劇場 コンサートホール
7:00p.m., Tuesday, November 1, 2016, at Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall

※JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線 池袋駅西口より徒歩2分

〈第1部〉

- ※ クイーンズバリー [ケイ]
- ※ 序曲「海賊」[ベルリオーズ/ブランド編曲]
- ※ ミス・ブルー・ボネット [サイモン/スミス編曲]
コルネット独奏:リチャード・マーシャル
- ※ デープ・ハーモニー [パーカー]
- ※ ビー・マイ・ラブ [ブロススキー/ファー編曲]
バリトン独奏:カトリーナ・マーゼラ
- ※ 組曲「スターバト・マーテル」より
[ジェンキンス/ウェインライト&R.チャイルズ編曲]
II.カントゥス・ラクリモーズ(悲しむべき魔法)
III.パラディーゼイ・グローリア(天国の栄光を)
- ※ 深紅と黄金の交響曲 [グレイナム]

〈第2部〉

- ※ エンター・ザ・ギャラクシー [ロヴァット=クーバー]
- ソリスト・ショーケース
- ※ チロルの歌による変奏曲 [アーバン/ベイツ編曲]
テナー・ホルン独奏:ジョナサン・ベイツ
- ※ フリング [ブライス] シロフォン独奏:アンドリア・ブライス
- ※ ヴェニスへの謝肉祭 [スタイガース/ヴィズッティ&ベイツ編曲]
ユーフォニアム独奏:ゲイリー・カーティン
- ブラック・ダイク ビッグ・バンドスタイル
- ※ ヴォルガの舟歌 [ロシア民謡/スミス編曲]
- ※ この素晴らしい世界 [ファーニー編曲]
- ※ シング・シング・シング [ブライス編曲]
- ※ ファイヤー・イン・ザ・ブラッド [ロヴァット=クーバー]

- ※ Queensbury [James Kaye]
- ※ The Corsair [Hector Berlioz arr. Brand]
- ※ Miss Blue Bonnet [Herman Bellstedt arr. Smith]
Cornet Soloist Richard Marshall
- ※ Deep Harmony [Handel Parker]
- ※ Be My Love [Nicholas Brodsky arr. Farr]
Baritone Soloist Katrina Marzella
- ※ Stabat Mater Suite
[Karl Jenkins arr. Wainwright]
ii Cantus Lacrimosus
iii Paradisi Gloria
- ※ Symphony of Scarlet and Gold [Peter Graham]
- ※ Enter the Galaxies [Paul Lovatt-Cooper]
- ソリストズ Showcase
- ※ Variations on Tyrolean [Arban arr. Bates]
Tenor Horn Soloist Jonathan Bates
- ※ Fling [Andrea Price]
Xylophone Soloist Andrea Price
- ※ Carnival of Venice [Vizutti arr. Bates]
Euphonium Soloist Gary Curtin
- ブラック・ダイク ビッグ・バンド・スイート
- ※ Song of the Volga Boatmen [arr. Sandy Smith]
- ※ What a Wonderful World [arr. Alan Fernie]
- ※ Sing Sing Sing [arr. Dan Price]
- ※ Fire in the Blood [Paul Lovatt-Cooper]

6月23日(木) 前売開始

夢倶楽部会員[WEB]6/18(土) | 夢倶楽部会員[TEL]6/19(日)
ジャパン・アーツぴあネット会員6/21(火)

全席指定¥5,400 学生¥2,700

ジャパン・アーツ夢倶楽部会員¥4,500

※料金には消費税8%が含まれています。 ※特別料金については、裏面をご覧ください。
※ジャパン・アーツ夢倶楽部会員先行発売などで満席になった席種は、以降販売されない場合がございます。

※お問合せ&お申し込み※

ジャパン・アーツぴあ 03-5774-3040
www.japanarts.co.jp/

- ▶ チケットぴあ t.pia.jp 0570-02-9999 [Pコード:297-783]
- ▶ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 (10:00-19:00 休館日を除く)
- ▶ イープラス eplus.jp ▶ ローソンチケット 0570-000-407 [Lコード:33103]
- ▶ 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

〔主催〕 ジャパン・アーツ 〔共催〕 東京芸術劇場(公益財団法人 東京都歴史文化財団)

〔後援〕 一般社団法人 全日本吹奏楽連盟
〔協力〕 株式会社 ビュッフエ・クラボン・ジャパン

東京芸術劇場
Tokyo Metropolitan Theatre

おかげさまで40年



JAPAN ARTS

ついにやってくる、

世界最強のブラス・バンド・チーム!

ダイクの前にダイクなく、

ダイクの後にもダイクなし!

富樫 鉄火 (音楽ライター)

イギリスにおけるブラス・バンドの人気は、私たち日本人には想像しにくいかもしれない。イギリス全土に2000団体以上が存在し、週末になれば、どこかで必ずコンテストが開催されている。ブラス・バンドは、「音楽」であると同時に「競技」でもあり、故郷の「誇り」でもある。その点、サッカーと似た存在とっていいかもしれない。

それらすべてのコンテストで何度となく優勝を飾っているのが、名門中の名門「ブラック・ダイク・バンド」である。何しろ全英選手権23回、全英オープン30回、さらにはヨーロピアン選手権でも13回の優勝を獲得しているのだ。

彼らのルーツは1816年にヨークシャーで結成された小さな吹奏楽団である。その中の金管奏者たちが、1855年にブラック・ダイク紡績工場でブラス・バンドを結成した。以後、独走をつづけ、いまや「ダイクの前にダイクなく、ダイクの後にもダイクなし」とまで謳われる、世界最強のブラス・バンド・チームとなっているのだ。

そんな彼らが、26年ぶりに来日する!

しかも曲目がすごい。近年、英ブラス・バンド界で大人気、アディエマスのプロデューサー、カール・ジェンキンスによる《スターバト・マーテル》や、吹奏楽でも有名なピーター・グレイアムの新作、そしてトップメンバーによるソロ曲の数々。「俺たちはこれを演奏したいんだ!」との叫びが聴こえてきそうだ。

イギリスのブラス・バンドは、プロ・アマ混在で構成されている。よってメンバーの大半は、ほかに仕事を持っている。それだけに、「東洋の果て」日本への演奏旅行がいかにか貴重な機会か、おわかりいただけるはずだ。

ブラス・バンドは、サクソルン系の金管楽器を中心に、原則28名+αで編成される、意外と小さな演奏形態だ。音色も室内楽を思わせ、柔らかくて繊細な響きである。大音量が席卷する日本の吹奏楽界に、新鮮な衝撃をもたらしてくれるにちがいない。



©Jirkajansch

ニコラス・チャイルズ

(ブラック・ダイク・バンド音楽監督・首席指揮者)

Nikolas Childs, Music Director & Chief Conductor

DMA(博士号)、MA(修士号)、FLCM(ロンドン・カレッジ・オブ・ミュージックのフェローの称号)、ARCM(Hons)(英国王立音楽大学名誉アンソニエイトの称号)

優勝している。2009年6月には、ブラック・ダイク・バンドを率いて、彼にとって初めてとなるイングランド(イングリッシュ・ナショナルズ)選手権で優勝し、その後、11年、12年、13年にも優勝を重ねた。この他にも、スウェーデン、フランス、スコットランド(4回)、ウェールズ(3回)、ノルウェー(5回)の各ナショナル選手権での優勝がある。さらに、リーズ・メトロポリタン大学からは、2006年に名誉博士号を授与され、2008年には教授に任命された。また同年、ロンドン市の名誉市民「フリーマン・オブ・ザ・シティ・オブ・ロンドン」の称号を授与された。

近年、王立ノーザン音楽大学の教授に任命され、同大学の学長、リンダ・メリック教授は、「音楽業界に際立った貢献をされたニコラス・チャイルズ氏に、教授という役職を引き受けていただいたことを、私たちは大変光栄に思っています。そして、王立ノーザン音楽大学に新設されたフィリップ・ジョーンズ・ブラス・センターを拠点にブラス・バンド教育を充実させるにあたり、彼と共に活動することを楽しみにしています」と述べた。

ブラック・ダイク・バンド BLACK DYKE BAND



2015年7月 ブラック・ダイク・バンド創設160周年記念演奏会会場にて(特別編成による大型バンド)

1855年創立。その前史としては、1816年、ピーター・ワートンが、ヨークシャーのクイーンズヘッド(現在のクイーンズバリー)に、金管楽器と木管楽器によるバンドを設立。後に「ブラック・ダイク・ミルズ・バンド」の創設者となるジョン・フォスターは、このワートンの設立したバンドのフレンチ・ホルン奏者であった。1833年になると、「クイーンズヘッド・バンド」という名の新しいバンドが結成された。クイーンズヘッド・バンドは、1838年から1843年にかけて団員18名を擁していたと伝えられている。

ブラック・ダイク・バンドは、2005年9月15日に創設150周年記念日を迎え、この時「ゴールデン・イヤーズ:ブラック・ダイク150年の歴史」という書籍の出版、3枚組のCDセット「ジュエルズ・イン・ザ・クラウン」をリリースした。

ブラック・ダイク・バンドは、世界で最も多くの録音をおこなっているバンドで、すでに350枚を超えるディスコグラフィは、さらに増加を続けている。また、同バンドは、世界で最もコンテストで成功を収めているバンド

でもある。これまでに、ヨーロピアン・ブラスバンド選手権で13回(直近では2015年)、ブリティッシュ・オープン・ブラスバンド選手権で30回(直近では2014年)、全英ブラスバンド選手権で23回(直近では2014年)の優勝がある。また、イングリッシュ・ナショナル・ブラスバンド選手権では、2009年、11年、12年、13年に優勝したのに加え、2014年10月にも優勝したことにより、2014年の「イングリッシュ・ナショナル・チャンピオン」のタイトルを獲得した。

2006年には、若者たちの活動を支援する一環として、ニコラス・チャイルズ博士の指導と同バンド正規メンバーの協力の下に、11歳から21歳までの若者たちが、演奏者、作曲家、市民として、自身の能力を余すところなく発揮できるように、ヨークシャー・ユース・ブラス・バンド(YBBS)を創設した。

2007年8月、ロンドンのロイヤル・アルバート・ホールにおけるBBCプロムスに招かれて演奏を行った。

特別割引チケットのご案内 <ジャパン・アーツびあコールセンター及びWEBジャパン・アーツびあで受付>

◎学生席＝社会人学生を除く、公演当日25歳までの学生が対象。公演当日、入口にて学生証を拝見いたします。(学生証がない場合は一般料金との差額を頂戴場合がございます。)ジャパン・アーツ倶楽部会員で学生の方も、学生席の料金は一般と同額です。

◎シニア・チケット＝65歳以上の方は会員料金でお求めいただけます。

★車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。(ジャパン・アーツびあコールセンターのみで受付)

■次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さいませ。

①やむを得ない事情により出演者、曲目が変更になる場合がございます。②お買い求めいただきましたチケットの、キャンセル・変更等はできません。また、いかなる場合も再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。③演奏中は入場できません。開演時間に遅れませんようご注意ください。④未就学児の同伴はご遠慮下さい。なお、ご入場には1人1枚チケットが必要です。⑤全席指定です。指定された座席でのご鑑賞をお願い致します。⑥場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。⑦ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑧他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合があります。

東京芸術劇場 Presents プラスウィーク 2016

3公演セット券(¥13,400)のお知らせ
各公演¥1,000割引・合計¥3,000割引

<対象公演>

・9月22日(木・祝) 14:00

東京交響楽団 指揮:大井剛史

・9月30日(金) 19:00

東京吹奏楽団 指揮:小林恵子

・11月1日(火) 19:00

ブラック・ダイク・バンド 指揮:ニコラス・チャイルズ

【問合せ】東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

ブラック・ダイク・バンド

他日公演

・10月29日(土) NHKホール
【問合せ】NHKプロモーション
03-3468-7736

・11月4日(金)
松山市民会館大ホール
【問合せ】テレビ愛媛事業部
089-933-0322

Twitterでフォローする
@japan_art

音楽の力で
復興を!
東京大学大学院音楽研究科